

(19) 日本国特許庁(JP)

## (12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2019-525961

(P2019-525961A)

(43) 公表日 令和1年9月12日(2019.9.12)

(51) Int.Cl.

**A61K 8/37 (2006.01)**  
**A61Q 3/02 (2006.01)**  
**A61K 8/92 (2006.01)**

F 1

A 61 K 8/37  
A 61 Q 3/02  
A 61 K 8/92

テーマコード(参考)

4 C 0 8 3

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2019-524140 (P2019-524140)  
(86) (22) 出願日 平成29年7月21日 (2017.7.21)  
(85) 翻訳文提出日 平成31年3月12日 (2019.3.12)  
(86) 國際出願番号 PCT/US2017/043309  
(87) 國際公開番号 WO2018/017968  
(87) 國際公開日 平成30年1月25日 (2018.1.25)  
(31) 優先権主張番号 62/364,926  
(32) 優先日 平成28年7月21日 (2016.7.21)  
(33) 優先権主張国・地域又は機関  
米国(US)

(71) 出願人 519022377  
アイザ レベッカ  
アメリカ合衆国 44124 オハイオ州  
ペッパー パイク エス. ウッドラン  
ド ロード 30700  
(74) 代理人 100124431  
弁理士 田中 順也  
(74) 代理人 100174160  
弁理士 水谷 韶也  
(74) 代理人 100175651  
弁理士 追田 恒子  
(72) 発明者 アイザ レベッカ  
アメリカ合衆国 44124 オハイオ州  
ペッパー パイク エス. ウッドラン  
ド ロード 30700

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】爪コーティングシステム

## (57) 【要約】

本技術は、爪コーティングシステムであって、爪甲に塗布する、爪甲を改善するのに適した爪コーティングシステムを提供する。爪コーティングシステムは、2つの成分、すなわち油性血清およびベース組成物を含む。使用時に、最初に爪甲をアルコールおよび/またはアセトンで洗浄することなく、油性血清を爪甲に直接塗布することができる。油性血清コートは、爪甲内のいかなる割れや隙間も埋め、爪甲上に皮脂および水分を回復させることができる。油性血清層を爪に入るよう磨いた後、ベース組成物を油性血清コートに塗布することができる。ベース組成物が乾燥した後、ユーザはトップコート、着色マニキュア液、仕上げ剤製品などを塗布することができる。結果として生じる爪甲は、改善された特徴を有し、爪甲内の自然の皮脂および水分のレベルを回復している。

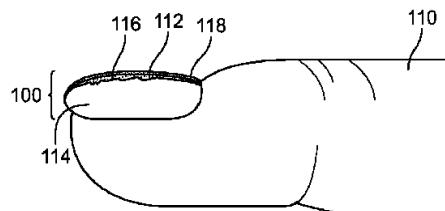


FIG. 1

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

爪コーティングシステムであって、  
(a) 油性血清と、  
(b) ベース組成物とを含む、爪コーティングシステム。

**【請求項 2】**

前記ベース組成物が、アセテート、ブチルアセテート、またはそれらの誘導体からなる群から選択される物質を含む、請求項 1 に記載の爪コーティングシステム。

**【請求項 3】**

油性血清コーティングが、きれいな爪甲に直接塗布される、請求項 1 に記載の爪コーティングシステム。 10

**【請求項 4】**

前記油性血清コーティングが、皮脂および水分を前記爪甲に回復させる、請求項 3 に記載の爪コーティングシステム。

**【請求項 5】**

前記油性血清が、前記爪甲内の隙間を埋める、請求項 4 に記載の爪コーティングシステム。

**【請求項 6】**

ベース組成物コーティングが、前記油性血清コーティングに塗布される、請求項 5 に記載の爪コーティングシステム。 20

**【請求項 7】**

爪コーティング組成物を使用する方法であって、  
(a) 油性血清コーティングを爪甲に塗布するステップと、  
(b) 前記油性血清コーティングを前記爪甲に入るように磨くステップと、  
(c) ベース組成物コーティングを前記油性血清コーティングに塗布するステップとを含む、方法。

**【請求項 8】**

さらに、トップコートコーティングを前記ベース組成物コーティングに塗布するステップを含む、請求項 7 に記載の方法。

**【請求項 9】**

さらに、マニキュア液コーティングを前記ベース組成物コーティングに塗布するステップを含む、請求項 7 に記載の方法。 30

**【請求項 10】**

さらに、トップコートコーティングを前記マニキュア液コーティングに塗布するステップを含む、請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 11】**

さらに、仕上げ剤コーティングを前記ベース組成物コーティングに塗布するステップを含む、請求項 7 に記載の方法。

**【請求項 12】**

さらに、トップコートコーティングを前記仕上げ剤コーティングに塗布するステップを含む、請求項 11 に記載の方法。 40

**【請求項 13】**

さらに、油性血清の追加のコートを前記爪甲に塗布するステップと、  
前記油性血清の追加のコートを前記爪甲に入るように磨くステップとを含む、請求項 7 に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記コーティングされた爪甲が、皮脂および水分レベルを回復している、請求項 7 に記載の方法。

**【請求項 15】**

前記コーティングされた爪甲が、改善された爪健康を有する、請求項 14 に記載の方法 50

。

【請求項 1 6】

前記コーティングされた爪甲が、改善された強度を有する、請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記コーティングされた爪甲が、改善されたマニキュア液の持ちを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 8】

爪コーティング組成物を使用する方法であつて、

- ( a ) 隙間を有する爪甲に油性血清コーティングを塗布するステップと、  
10
- ( b ) 前記爪甲の前記隙間を前記油性血清で埋めるステップと、
- ( c ) 前記油性血清コーティングを前記爪甲に入るように磨くステップと、
- ( d ) ベース組成物コーティングを前記油性血清コーティングに塗布するステップと、
- ( e ) 前記油性血清を前記ベース組成物によって前記爪甲に押し込むステップとを含む  
、方法。

【請求項 1 9】

前記コーティングされた爪甲が、皮脂および水分のレベルを回復している、請求項 1 8 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記コーティングされた爪甲が、改善された爪健康を有する、請求項 1 9 に記載の方法

。

【発明の詳細な説明】

【関連出願の相互参照】

【0 0 0 1】

本出願は、2016年7月21日に出願された米国仮特許出願第62/364,926号に対する優先権およびその利益を主張するものであり、その開示の全体は参考により本明細書に組み込まれる。

【技術分野】

【0 0 0 2】

本技術は、接着性の改善、爪の水和の改善、マニキュア液の持ちの改善、爪の強度の改善、爪の皮脂および水分のレベルの再調整、爪の柔軟性レベルの改善、爪の硬度レベルの改善、破損、さざれ、および脆さを含む爪の損傷の防止ならびに損傷した爪甲の修復を含む、爪の一般的な状態の改善のための組成物および方法に関する。

【背景技術】

【0 0 0 3】

ヒトの指爪および足爪のものを含む自然爪甲は、半透明のケラチンタンパク質の多層からなる。爪甲は、爪甲の根元にある爪床内に作られ、指またはつま先の端部に向かってゆっくりと運ばれ、全体的には通常、指爪へは4~6ヶ月、足爪へは最大1年かけて進行する。爪の繊維状構造タンパク質であるケラチンは、人間の髪の毛や皮膚にも見られる。ケラチンは爪甲に構造、強靭性、耐久性および柔軟性を自然に付与し、それによって割れ、チッピング、破損および引き裂きに対する抵抗性を確実にする。爪甲には、爪甲を維持し保護するために皮脂および水分も含まれている。皮脂および水分は、爪甲を滑らかに保ち、これが乾いて壊れるのを防止する。

【0 0 0 4】

残念なことに、爪甲は、過酷なまたは腐食性の化学物質への露出、水への過剰露出、機械的損傷による日常の活動によって、または特定の自己免疫疾患などの感染症または病気のために損傷を受けるようになる可能性がある。一部の爪甲はまた、様々なマニキュアおよびペディキュア技術、例えば爪にマニキュア液を加える前にアルコールおよびアセトンを用いて自然な油分、すなわち皮脂および水分を除去することによっても損傷を受ける。さらに、爪甲はまた、過度に強烈で不適切に行われたマニキュア、人工ネイルまたはジェルマニキュアの塗布／除去手順から生じる機械的損傷を被る場合もある。一部の人々はま

10

20

30

40

50

た容易に引き裂くか、破損するか、またははがれる薄い／弱い爪甲を本質的に持っているか、そうなっていくこともある。爪甲の強度および耐久性はまた、通常、年齢が上がるにつれて低下する。損傷したまたは弱体化した爪甲は、感染、過度の染色／変色、またはさらに継続的な損傷をより受けやすくなり得る。また、加齢の結果として、爪甲はしばしば、自然爪甲の長さにわたる様々な深さの溝が発生し得る。しばしば誤って隆起部として認識されるこれらの溝は、爪甲の弱点として働き、これらの溝のある領域における爪甲の著しい薄肉化の結果として爪甲に発生し得る長手方向の分裂または割れを開始する根源として作用する可能性があり、またはマニキュアの泡立ちや割れに関するマニキュア液における弱点を与える可能性がある。

#### 【0005】

爪甲の固有の強度、柔軟性、および水和を向上または回復させることは、爪甲が衝撃により良好に耐えること、および日常的な応力、ひずみなどの形で外部から加えられる物理的な力に抵抗することを可能にする耐久性の向上をもたらす。強度、柔軟性、および耐久性の間で達成されなければならないバランスがある。理想的な爪は、脆くはなく損傷に抵抗する十分な強度があるが、脆くて過度に柔軟でもないなどである。さらに、爪の溝を滑らかにすることにより、マニキュア液の持ちを改善することができる。

10

#### 【0006】

したがって、爪甲の皮脂および水分を回復させながら爪甲の強度、耐久性、および柔軟性を改善してマニキュア液の接着性および持ちを改善できる、爪甲改善システムを開発することが望ましい。塗布が容易でありながら、既に脆い、弱い、分裂している、または以前に損傷しているものを含むいかなる種類の爪甲にも長期にわたる強度および耐久性を提供することができる爪改善組成物を開発することも望ましい。さらに、爪甲への化粧製品の塗布のための強固なベースとして働きながらも、爪甲および爪甲の健康を修正および保護することができる爪コーティングシステムを作りだすことが望ましい。

20

#### 【発明の概要】

#### 【0007】

本技術は、爪コーティングシステムであって、爪甲の強度を改善し、爪甲の欠陥を滑らかにし、爪甲の皮脂および水を回復させ、カラーマニキュアまたはペディキュア用のネイルラッカーの接着を改善し、マニキュア液を含まないきれいな爪甲を用意した後、アルコール、アセトン、および／またはホルムアルデヒドなどの爪甲を剥離する化学薬品を使用せずに高品質の爪トリートメントプロセスを結果としてもたらすことができる、爪コーティングシステムを提供する。

30

#### 【0008】

1つの態様では、本技術は、油性血清およびベース組成物を含む爪コーティングシステムを開示する。ベース組成物は、スクロースアセテートイソブチレートを含むことができる。さらに、油性血清コーティングは、油分および水分でコーティングされた爪甲に直接塗布され、油性血清コーティングは、油分および水分を爪甲に固定することができる。油性血清は、爪甲の隙間を埋めることもできる。ベース組成物のコーティングを油性血清コーティングに塗布することができる。

40

#### 【0009】

一態様では、本技術は、爪コーティング組成物を使用する方法であって、油性血清コーティングを爪甲に塗布するステップと、油性血清コーティングを乾燥させるステップと、ベース組成物コーティングを油性血清コーティングに塗布するステップとを含む、方法を開示する。一実施形態では、トップコートをベース組成物コーティングに塗布することができる。一実施形態では、マニキュア液コーティングをベース組成物コーティングに塗布し、続いてトップコートコーティングを塗布することができる。一実施形態では、仕上げ剤コーティングおよびトップコートコーティングをベース組成物コーティングに塗布することができる。

50

#### 【0010】

一態様では、本技術は、爪コーティング組成物を使用する方法であって、隙間を有する

爪甲に油性血清コーティングを塗布するステップと、爪甲の隙間を油性血清で満たすステップと、油性血清コーティングを乾燥させるステップとを含む、方法を開示する。ベース組成物は、油性血清コーティング上にコーティングされ、それによって油性血清を爪甲に押し込むことができる。

【0011】

これらおよび他の態様および実施形態は、以下の詳細な説明を参照してさらに理解される。

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】爪表面上の爪コーティングシステムの断面図である。

10

【図2】爪表面上の爪コーティングシステムおよびトップコートの断面図である。

【図3】爪表面上の爪コーティングシステム、マニキュア液、およびトップコートの断面図である。

【図4】爪表面上の爪コーティングシステム、仕上げ剤、およびトップコートの断面図である。

【図5】爪コーティングシステムを使用するための様々な任意選択肢を詳述するフローチャートである。

【発明を実施するための形態】

【0013】

別途指定されない限り、図は一定の縮尺ではない。図は、本技術の態様および実施形態を例示することを目的としており、本技術をそこに例示されている態様に限定することを意図していない。本技術の態様および実施形態は、以下の詳細な説明を参照してさらに理解することができる。

20

【0014】

本技術は、爪コーティングシステムであって、爪甲の強度を改善し、爪甲の欠陥を滑らかにし、爪甲の皮脂および水分を回復させ、カラーマニキュアまたはペディキュア用のネイルラッカーの接着を改善し、アルコール、アセトン、および／またはホルムアルデヒドなどの化学薬品を使用せずに高品質の爪トリートメントプロセスを結果としてもたらすことができる、爪コーティングシステムを提供する。

組成物

30

【0015】

本技術の爪コーティングシステムは、2つの成分、すなわち油性血清成分とベース成分とを含む。各成分は、単一の成分またはいくつかの異なる成分を含むことができる。

【0016】

爪コーティングシステムは、油性血清を含む。油性血清は、任意の適切な種類の液体またはゼラチン状物質である。油性血清は、任意の適切な物質から構成され得る。物質の量は、油性血清内のバッチサイズおよび他の成分の量に基づいて変わり得る。

【0017】

油性血清は、その成分物質を任意の適切な方法で、例えば順次に、一度に、または様々な段階で組み合わせることによって調製することができる。一実施形態では、これらの成分は、その場で形成することができる。別の実施形態では、成分は、予備成形された物質であってよい。調製後、油性血清成分は、任意の適切な容器、例えば標準的なガラスマニキュア液容器に保存することができる。

40

【0018】

爪コーティングシステムはまた、ベース成分を含む。ベース成分は、液体成分である。ベース成分は、それだけに限定されないが、アセテート、ブチルアセテートおよび／またはそれらの誘導体を含む任意の適切な物質から構成され得る。これらの物質の量は、ベース成分内のバッチサイズおよび他の成分の量に基づいて変わり得る。一実施形態では、ベース成分は、アセテート、ブチルアセテートおよび／またはそれらの誘導体を含む従来のマニキュア液配合物であってよい。

50

**【 0 0 1 9 】**

ベース成分は、その成分物質を組み合わせることによって調製することができる。油性血清成分は、任意の適切な方法で、例えば、順次に、一度に、または様々な段階で組み合わせることができる。一実施形態では、これらの成分は、その場で形成することができる。別の実施形態では、成分は、予備成形された物質であってよい。ベース成分は、任意の適切な容器、例えば標準的なガラスマニキュア液容器に保存することができる。

**使用方法****【 0 0 2 0 】**

調製後、爪コーティングシステムは、それだけに限定されないが、ブラシで、ローラーで、スプレーすることによって、落下させることによってなどを含む任意の適切な方法によって爪に塗布することができる。一実施形態では、爪コーティングシステムは、マニキュア液用途に一般的に使用されるような標準的なプラシアプリケータによって塗布することができる。

10

**【 0 0 2 1 】**

本技術は、爪コーティングシステム 100 を用いて爪甲をコーティングする方法も含む。図 1 に示すように、爪コーティング組成物は、指またはつま先 110 の自然爪に塗布することができる。爪コーティングシステムが塗布される前、爪は、それまでのネイル製品、ローション、および他の化粧製品を含まなくてよい。マニキュア液は、それだけに限定されないが、アセトンまたは他のマニキュア液リムーバーを含む任意の適切な手段によって爪から除去されなければならない。爪は、アセトンおよび / またはアルコールでさらに洗浄および / または乾燥させる必要はない。爪を含む手 / 足は、爪コーティングシステム 100 を塗布する前に石鹼および水で洗浄し、乾燥させなければならない。

20

**【 0 0 2 2 】**

爪コーティングシステムを塗布する方法は、油性血清およびベース組成物製品を保持する容器を任意選択により振とうするステップを含む。対象となる爪は、アセトンまたは他の適切なマニキュア液リムーバーの使用を含む任意の適切な手段によって残留マニキュア液を取り除かなければならない。その後、手および / または足を石鹼で洗って乾かし、爪および周囲の皮膚から古いローション、汚れ、ゴミなどを注意深く除去しなければならない。爪はマニキュアハサミまたはネイルクリッパーでトリミングされてよく、甘皮および他の皮膚は、マニキュアおよび / またはペディキュアで通常行われるように維持することができる。次に、油性血清 112 を、爪甲 114 および甘皮を含む指関節までの周囲の皮膚かつ爪の自由縁下に直接塗布することができる。このステップは反直感的なものであり、その理由は、通常のマニキュア / ペディキュアプロセスでは、爪甲はまず皮脂油を除去するためにアルコールで洗浄され、爪甲から水分を除去するためにアセトンで洗浄されるためである。このステップは、自然の保護皮脂および水分を除去しながら爪を乾燥させ、爪甲を乾燥して脆くしたままにし、すなわちさらなる損傷を受けやすくする。

30

**【 0 0 2 3 】**

本発明の爪コーティングシステムでは、油性血清 112 は、自然な皮脂および水分をまだ含む爪甲、すなわち、アルコール、アセトン、またはその他の刺激の強い化学物質および / または乾燥剤で処理されていないものに直接塗布されなければならない。ここで、油性血清 112 は、爪甲 110 に直接付着し、それだけに限定されないが、人工ネイルもしくはジェルマニキュア液の塗布および除去を含むこれまでの爪トリートメントからの損傷によって、または接触による損傷によって、または病気または疾患による自然爪の成長のパターンによって引き起こされたいかなる自然の隙間 116 も埋める。次いで、油性血清 114 は滑らかな爪甲表面を作り出して、ネイル製品の次の層のより良好な接着を可能にする。油性血清 114 は爪に吸収され、既に存在する皮脂および水分を固定し、追加の皮脂および水分の生成を促進して爪甲を矯正し、その自然で健康な状態に回復させるのを助ける。

40

**【 0 0 2 4 】**

油性血清 114 のコートは、ユーザの爪甲 112 の上を滑らかに覆うのに十分な任意の

50

適切な量で塗布することができる。油性血清 114 の乾燥時間は、それだけに限定されないが、油性血清のコートの厚さ、爪コーティング組成物プロセスの場所における条件および温度などを含む様々な要因に基づいて変動し得る。次いで、油性血清 114 は、磨き布の小砂粒側または他の任意の適切な材料で磨かれる。磨きプロセスは、爪甲 112 からケラチンの緩い層を磨き落とし、油性血清 114 を爪甲に押し込む。油性血清 114 の全てが爪甲 112 および周囲の皮膚に吸収される場合、ユーザは、油性血清 114 の最初のコートが吸収された後に油性血清 114 の追加のコートを塗布することを選択することができる。磨き段階は、適切な量の油性血清 114 が塗布されたサインとなる、爪甲 112 が油性血清 114 の吸収を止めるまで繰り返される。この時点で、ユーザは、自分の爪甲 112 をスムーザ（例えば革または磨き布の砂粒ではない側）で磨き始める。この第 2 の磨きプロセスは、染みつきの靴を磨くのと同様のプロセスで、残りの油性血清 114 をさらに爪甲 112 に押し込み、油性血清 114 を均一にブレンドする。磨きに必要な時間は、人、爪の状態、爪から除去されるケラチンの量、および塗布されたおよび / または爪に残っている油性血清の量に依存する。また、爪を磨く段階は、磨きプロセスが乾燥爪甲上で完了する通常のマニキュア / ペディキュア工程に対して反直感的なものである。乾式磨きは、ケラチンの層を除去すること、爪甲をひっかくことなどによって爪甲に損傷を与える可能性がある。ここでは、油性血清でコーティングされた爪を磨くことで、爪甲の損傷を防ぎ、実際には、爪甲を改善し、緩いケラチンを除去しながら、油分および水分の自然なバランスを回復するのを助ける。

10

20

30

40

50

#### 【0025】

油性血清コート 114 が吸収された後、ベース組成物 118 のコートを油性血清コート 114 に直接塗布することができる。ベース組成物 118 はさらに、油性血清を爪甲に「押し込み」、それによって爪甲 112 およびその隙間 116 へのその付着を強化することができる。隙間を埋めることにより、次の製品層を塗布する滑らかな爪甲表面が可能になる。ベース組成物 118 のコートは、爪上の油性血清コートを完全に覆うのに十分な任意の適切な量で塗布することができる。ベース組成物 118 の乾燥時間は、それだけに限定されないが、ベース組成物のコートの厚さ、ネイルコーティング組成物プロセスの場所における条件および温度などを含む様々な要因に基づいて変動し得る。ベース組成物 118 は、環境にさらすことによって乾燥させることができ、または指 100 を乾燥機内および / または乾燥時間を加速させるために加熱ランプ、例えば、UV 光または LED 光などに置くことができる。ユーザは、均一にコーティングされたと思わない場合、ベース組成物の第 1 のコートが乾燥した後、ベース組成物の第 2 のコートを塗布することを選択することができる。

#### 【0026】

爪コーティングシステムが塗布されると、コーティングされた爪甲にはいくつかの予期せぬ利点が結果としてもたらされる。まず、最終的な生成物は、高品質のコーティングされた爪甲である。爪甲は、その自然の皮脂および水分を回復させ、それによって他の爪トリートメントシステムで処理されたものよりも強度の向上および脆くない乾燥爪などの爪の健康を結果として改善する。第 2 に、爪コーティングシステムは、ホルムアルデヒド、アルコール、アセトンなどを含む、爪甲を剥離するさまざまな化学薬品を使用することなくそこにあるためより健康的である。第 3 に、コーティングされた爪甲は、滑らかな爪甲表面を示す。滑らかな、コーティングされた爪甲に塗布される任意の追加の製品は、改善された接着性を有し、隆起部および隙間周りの弱い箇所で欠けおよび / または泡立ちにくくなり、より長続きするマニキュア液の持ちをもたらす。通常のマニキュア / ペディキュアのルーチンは追加の化粧ネイル製品のより良好な接着を作り出すために爪甲から自然の皮脂および水分を除去することを含むので、これらの結果は予想外である。さらに、本発明の爪コーティングシステムの油性血清などの油分で処理された爪甲にはマニキュア液は付着できないので、その結果は予想外である。第 4 に、本発明の爪コーティングシステムによって処理された爪甲は、それらの改善された強度、柔軟性、水和、およびバランスの取れた皮脂および水分のレベルにより、損傷を受けにくく、例えば割れ、分裂、剥離など

が起こりにくいため、より速く成長することができる。これはまた、爪甲を強化／硬化させるかまたは爪を保湿し得る現在のシステムと比較しても独特である。現在のシステムは両方を同時にすることはできない。むしろ、現在のシステムは、爪甲の強化と保湿との間を行ったり来たりして切り替え、その結果、爪甲は、任意の所与の瞬間では本発明の爪コーティングシステムの利点の少なくとも一部を欠いている。

#### 【0027】

図2および図5に示す実施形態では、爪甲214は、爪コーティングシステム200を用いて油性血清212を塗布することによって処理され、続いて磨き、油性血清212の追加のコートを塗布し、爪甲隙間216を埋め、緩いケラチンの無い滑らかな爪甲214表面を作り出し、皮脂および水分の自然なバランスを回復させることができる。ベース組成物218のコートを油性血清212コートの上に塗布することができる。最後に、トップコート220をベース組成物コート218に塗布することができる。トップコートは、爪コーティングシステムを密封し、爪甲に光沢のある、手入れの行き届いた仕上げを提供することができる。10

#### 【0028】

図3および図5に示される実施形態では、爪甲314は、爪コーティングシステム300を用いて最初に油性血清312を塗布することによって処理され、続いて磨き、油性血清312の追加のコートを塗布し、爪甲隙間216を埋め、緩いケラチンの無い滑らかな爪甲314表面を作り出し、皮脂および水分の自然なバランスを回復させることができる。ベース組成物318のコートを油性血清312コート上に塗布することができる。標準のマニキュア液322、例えば着色ネイルラッカー、テクスチャードネイルラッカーなどのコーティングをベース組成物318のコートに塗布することができる。これは、指またはつま先に色や質感のポップを提供する。最後に、トップコート320をマニキュア液コート322に塗布することができる。トップコート320は、爪コーティングシステムおよびマニキュア液を密封し、爪甲上に光沢のある、手入れの行き届いた仕上げを提供することができる。様々な実施形態では、異なる色、模様、デザインなどをマニキュア液コート322内の爪甲上に重ねることができる。20

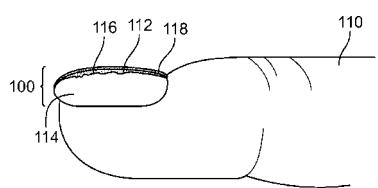
#### 【0029】

図4および図5に示される実施形態では、爪甲414は、爪コーティングシステム400を用いて最初に油性血清412を塗布することによって処理され、続いて磨き、油性血清412の追加のコートを塗布し、爪甲隙間216を埋め、緩いケラチンの無い滑らかな爪甲414表面を作り出し、皮脂および水分の自然なバランスを回復させることができる。ベース組成物のコート418を油性血清412コート上に塗布することができる。仕上げ剤424、例えば、光拡散体、ケラチンフィラーなどの仕上げ成分を含む組成物のコーティングを、ベース組成物418のコートに塗布することができる。これは、指またはつま先に自然な仕上がりを提供する。最後に、トップコート420を仕上げ剤コート424に塗布することができる。トップコート420は、爪コーティングシステムおよび仕上げ剤コートを密封し、爪甲上に光沢のある、自然な、手入れの行き届いた仕上げを提供することができる。30

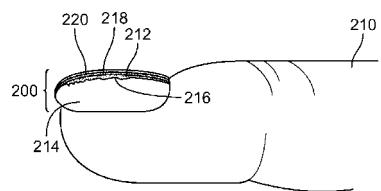
#### 【0030】

本技術は様々な例示的な実施形態を参照して説明されてきたが、当業者は改変形態を思い付くことができ、本出願は、そのような改変形態および発明を本発明の範囲に含まれるものとして包含することを意図することが理解されるであろう。40

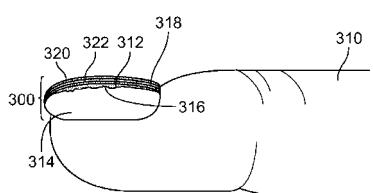
【図 1】



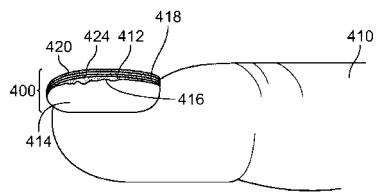
【図 2】



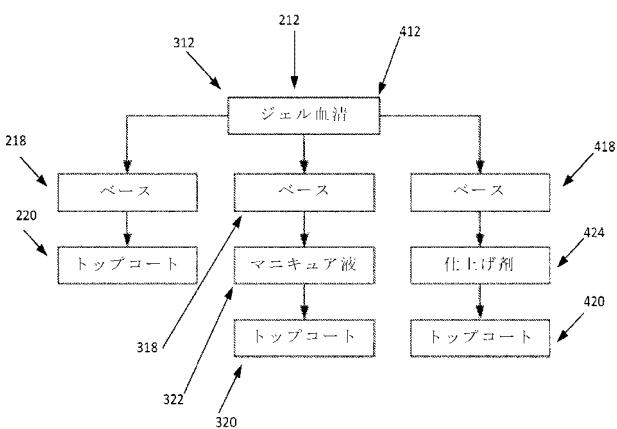
【図 3】



【図 4】



【図 5】



## 【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/US 17/43309
<b>A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER</b> IPC(8) - A61K 8/87, A61K 8/73, A61K 8/49 (2017.01) CPC - A61K 8/347, A61K 8/85, A61K 8/25, A61K 8/645		
<b>According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC</b>		
<b>B. FIELDS SEARCHED</b> Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) <i>See Search History Document</i> Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched <i>See Search History Document</i> Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) <i>See Search History Document</i>		
<b>C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT</b>		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 2014/0287064 A1 (SWENHOLT) 25 September 2014 (25.09.2014); para [0002], [0013], [0026], [0090], [0093], [0151], [0155], [0163], [0194]	1-3
Y		4-20
Y	WO 2008/073684 A1 (LIPO CHEMICALS INC.) 19 June 2008 (19.06.2008); para [0050], [0078], [0080]-[0081]	4-6, 14-16, 19-20
Y	US 2014/0140941 A1 (HAILE) 22 May 2014 (22.05.2014); [0016], [0041]-[0042], [0049], [0058]-[0060], [0095], [0116], [0132]; claim 35	6-20
Y	US 5,862,811 A (STEELE) 26 January 1999 (26.01.1999); Abstract; col 1 ln 5-8; col 2 ln 21-22, 50-52	5-6, 18-20
Y	US 6,080,414 A (SMITH et al.) 27 June 2000 (27.06.2000); col 1 ln 47-52	17
A	WO 2016/020287 A1 (OMYA INTERNATIONAL AG) 11 February 2016 (11.02.2016); see entire document	1-20
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search  15 September 2015	Date of mailing of the international search report  12 OCT 2017	
Name and mailing address of the ISA/US Mail Stop PCT, Attn: ISA/US, Commissioner for Patents P.O. Box 1450, Alexandria, Virginia 22313-1450 Facsimile No. 571-273-8300	Authorized officer: Lee W. Young PCT Helpdesk: 571-272-4300 PCT OSP: 571-272-7774	

---

## フロントページの続き

(81) 指定国・地域 AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,MK,MT,NL,NO,PL,PT,R0,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IR,IS,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SM,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT

F ターム(参考) 4C083 AC331 BB13 CC28 DD23 EE50